

「令和3年度全日本高等学校選抜九州地区予選会熊本県選考会

兼 県下大会ソフトテニス競技学校対抗 感染防止対策ガイドライン」

熊本県高体連ソフトテニス専門部

大会に参加できるのは、各学校の顧問(スタッフ)、部員とその保護者のみです。

参加者は大会当日、自宅で検温を行って下さい。また大会会場に到着後も再度検温をお願いします。

※ 各校顧問の責任において、以下のガイドラインに基づいて感染防止対策をお願いします。

1 大会の参加規定

(1) 参加者は、大会当日、検温を含めた健康観察を行い、顧問(スタッフ)・部員は検温確認表(別紙2)、保護者は検温確認表(別紙4)に必要事項を記入し、受付時に提出すること。

なお、顧問は参加する生徒の体調管理に努めること。

(2) 以下のア～カに該当する場合は、大会に参加できない。

ア 感染が判明し、治療していない場合。

イ 濃厚接触者に特定され、起算日から2週間経過していない場合。

ウ PCR検査を受けて、陰性が判明していない場合。

エ 発熱(37.5℃以上の熱)等風邪症状や息苦しさ、倦怠感、味覚・臭覚障害等の症状がみられる場合。

オ その他、保健所から参加を控えるように指示があった場合。

2 大会期間における感染防止対策規定

(1) 全般

ア 大会会場では、こまめな手洗い・手指消毒・うがいなどを行い、マスクを着用すること。

イ 試合前のアップおよび試合において、選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控えること。ミーティングなどは密集にならないように配慮し、短時間で済ませること。

ウ 大会当日の受付においては、男女分かれて適切な距離を取り並ぶこと。

エ 感染防止のため、各自で使用した場所などの消毒を行うこと。

オ 飲食を伴う場面では、対面を避け、消毒、間隔、黙食に留意すること。

(2) 選手

ア 試合中には十分な距離を確保しながらマスクを外してプレーを行うが、試合の前後ではマスクを着用すること。ただし、申し出があれば、競技中もマスクの着用は可能である。

イ コートに出入りする際は、出入口等に設置してある消毒液を利用して感染防止に努めること。

ウ 審判の際、使用する筆記用具やジャッジペーパーを挟むボード(下敷きでも良い)については、各学校で準備をすること。また、必ずマスクを着用すること。

エ コート内のベンチ周辺については、各学校で使用前後に必ず消毒を行うこと。

各学校で消毒液の準備をお願いします

オ 試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はサーブライン上で行うこと。また試合後の選手間での握手も禁止とする。

カ ペアなどとのハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。ペアで話をする際には、対面しないように努めること。

キ 待機選手はコート外で一定間隔を保ち応援するよう努めること。

ク 用具、用品(ラケット、タオル、ウェアなど)のシェアをしないこと。また、マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有、使い回しを行わないこと。

(3) 観客

ア 声を出しての応援を禁止とし、拍手のみの応援とする。また観客席が「密」にならないように、一定の距離(2m以上)を保って観戦すること。各学校で注意喚起をお願いします

イ ごみ処理での感染を防止するために、ゴミは各自持ち帰ること。

3 感染者または濃厚接触者が発生した場合の規定

(1) チーム内などにおいて、感染者または濃厚接触者が発生した場合は、直ちに大会関係者に連絡すること。